

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たんぽぽの家

目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 10 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	自己 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		グループホームの今後のあり方と取り組み	8年前の開設時には、日常生活が出来て、共同生活が出来の方が利用出来るホームであったが、看取り支援まで、今の人員配置でという方向性の中で、ホームが利用者にとってどのような支援に取り組んでいくかを検討し、ホームの方向性を確立していく。	利用者の重度化に伴い、職員が利用者に関わる時間が長くなり、職員が疲弊しないためにも、利用者一人ひとりに対する介護の中味を検討しながら、過剰なサービスに注意し、利用者の身体機能の維持と、介護力をつけて、笑顔で取り組むケアの実践を目指していく。	12ヶ月
2		職員の質の向上と質の確保	職員一人ひとりの介護技術や、考え方に差があるので、職員全員の介護技術の向上と意識の高揚を目指し、誰が介護しても、利用者の深い満足に繋がる体制を整えていく。	職員の希望と、やる気を考慮し、外部の研修に交代で派遣し、外の空気に触れて意識改革し、職員一人ひとりの介護能力を引き出し、職員間のチーム介護を充実し、利用者や家族と更なる信頼関係を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。